

2012年度 川崎市多摩川プラン事業実施報告書

TAMAGAWA2012



TAMAGAWA2012



TAMAGAWA2012



2013(平成25)年2月
川崎市多摩川プラン推進会議

ごあいさつ

川崎市では、多摩川を「母なる川」として市民共有の財産と位置づけ、より身近な魅力ある空間とするため、2007（平成19）年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。

川崎市多摩川プランは「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」を基本理念に掲げ、「理解」・「整備」・「保全・活用」の3つの基本的視点から多摩川のあるべき姿を描いています。

2012（平成24）年度には、プランに定められた「重点エリア」である等々力・丸子橋地区周辺エリア（中原区）の整備に向けた取組みや、リーディングプロジェクトとして位置づけられた事業を中心に施策を推進してまいりました。

本書により市の取組を知っていただくとともに、多摩川へ足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです。

2013（平成25）年2月
川崎市多摩川プラン推進会議

基本理念

「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」

多摩川プランでは、「川崎の母なる川・多摩川」の魅力を流域を含めた一人ひとりの市民が共有し、豊かな自然環境と多様な生命が共存しうる新しいライフスタイルを創造することを目指します。

また、総合行政の展開・推進を図るとともに、多摩川についてのさまざまな情報発信を行いながら、過去の多摩川の記憶を前提として、多摩川の未来を語りながら、多摩川の課題とあるべき姿、目指すべき方向性を共通のものとし、それぞれの主体がともに役割と責任を担い、市民、企業、行政が協働しながら、より魅力的で豊かな多摩川を持続的に育ていけるしくみづくりを目指します。

基本的視点

多摩川を『理解』する

- 多摩川の「これまで」の歴史を振り返る
- 多摩川の風景・ランドスケープデザインを考える

多摩川を『整備』する

- 市民に身近な集いの場として多摩川のさらなる利用を促進する
- 運動施設としての多摩川緑地を充実する

多摩川を『保全・活用』する

- 子どもたちの環境学習のフィールドとしての水辺を活用する
- 多摩川の持つ豊かな自然環境資源を活かす
- 多摩川流域での連携により多摩川を保全する

目次

ごあいさつ

トピックス

- 1 企業と育む環境づくり
- 2 桜並木の復活
- 3 サイクリングコースの充実

多摩川を理解する

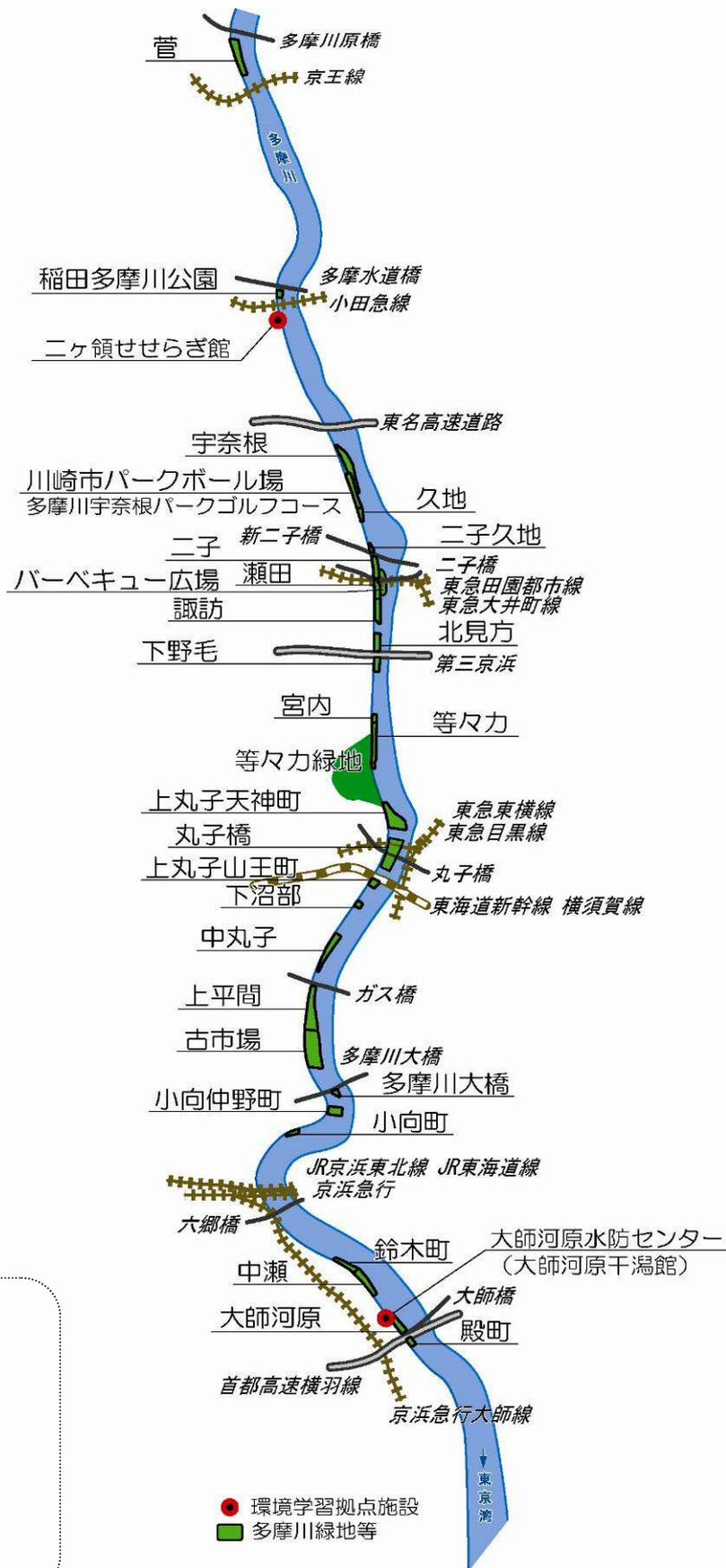
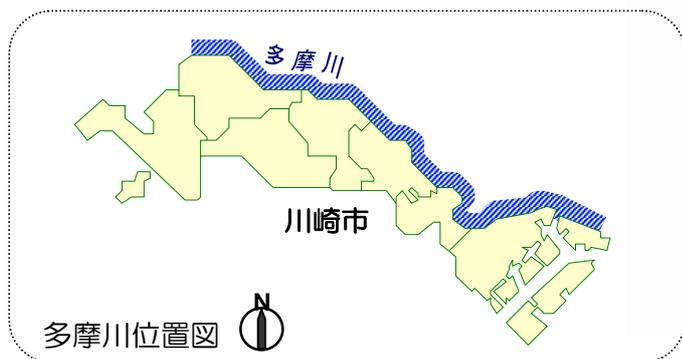
- 1 情報発信拠点の充実
- 2 多摩川流域セミナー
- 3 「多摩川の渡し」を伝える

多摩川を整備する

- 1 重点エリアの再整備
- 2 堤防と一体となった公園の完成
- 3 河川敷トイレの利用環境向上
- 4 マラソンコースの再整備
- 5 バーベキュー問題の解決
- 6 緑地の維持管理
- 7 施設更新・補修

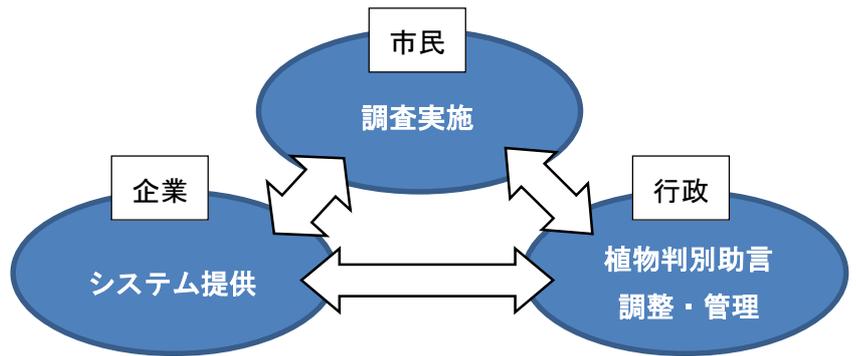
多摩川を保全・活用する

- 1 環境学習の実施
- 2 市内3校の水辺の楽校
- 3 夏休み多摩川教室
- 4 かわさき多摩川博2012
- 5 スポーツイベントの実施



トピックス1 企業と育む環境づくり(企業との連携事業の実施)

多摩川プランは、市民・企業・学校・行政それぞれが連携して進めています。その特徴的な取組のひとつが、多摩川での植物調査です。富士通株式会社の携帯フォトシステムを活用し、水辺の楽校などの市民団体が調査を行っています。位置情報が自動的に添付されることから資料の作成が簡単に行えます。



調査の対象は多摩川で比較的容易に見ることができる「花」です。季節ごとに植物の分布状況の調査を行い、今後の環境学習に活かせる資料をつくることを目指しています。

1. 多摩川 GPS 植物調査 (かわさき多摩川博 2012 事業)

開催日：春 2012(平成 24)年 4 月 14 日(土)、21 日(土)、22 日(日)

夏 2012(平成 24)年 9 月 17 日(土)、22 日(土)

秋 2012(平成 24)年 11 月 23 日(金祝)、25 日(日)、26 日(月)、12 月 2 日(日)

参加者数：延べ約 110 人

場 所：多摩川土手および河川敷(川崎市域約 28 km)

対 象：春 ヒメオドリコソウ、イヌノフグリの間、ハマダイコン、菜の花の間

夏 ヒガンバナ、クワイモの間、ワルナスビ、セイバンモロコシ

秋 セイタカアワダチソウ、ノギクの間、センダングサの間、ススキ属とヨシ属の間



調査のイメージ



2. 調査結果

◇ハマダイコン

2011（平成23）年度

2012（平成24）年度



◇ノギクの仲間

2011（平成23）年度

2012（平成24）年度



ハマダイコン(上)とノギクの仲間(下)では昨年度(左)なかった場所に今年度(右)分布が見られました。

このほかの調査結果は、インターネット上で検索・閲覧できます。

『生物情報収集システム』で検索してみてください。

(URL <http://bio.kimonosirabe.info/psystem/>)

3. 今後の方向性

- 多くの人に調査を知ってもらうため、広報を充実させます
- 次年度も継続して調査を実施し、データを蓄積していきます。
- 調査結果を考察、分析しまとめていきます。
(3ヶ年分のデータを他方面からも検討)
- 報告会等の開催により、市民へ還元していきます。
- 応用的な調査方法などを検討し、総合学習(学校)への活用を目指します。



同一エリアで分布する「ハマダイコン」と「菜の花の仲間」

トピックス2 桜並木の復活

川崎における多摩川の原風景のひとつに稲田堤の桜並木があり、多摩川プランでは桜並木などの復活を推進施策に位置づけています。堤防上は狭いところが多く、植樹できる場所も限られますが、スーパー堤防の整備や沿川市街地の整備などにより、幅が広がったところには順次サクラを植えています。また、多摩川沿いに新しく建物を建てる際は、サクラを植えていただくよう事業者の方々をお願いをしています。



アシ原とソメイヨシノ
(川崎区殿町1丁目)

1. 殿町3丁目(川崎区)にオオシマザクラを植樹

殿町3丁目地区では、川崎南ライオンズクラブの皆様から、オオシマザクラを寄贈していただき、29本の植樹と張芝を行いました。当該地区は、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）としての開発エリアとなっており、対岸には羽田空港があり、天気の良い日にはスカイツリーなども見える場所となっています。また、河口に近いので、大きな干潟や野鳥などを観察することもできます。



植樹式の様子



10年後が楽しみです

2. 成長した等々力(中原区)のサクラ

中原区等々力の堤防上には、2000（平成12年）年に市民の方々と植えたサクラがあります。植樹から約10年が経過し、大きく成長しました。（オオシマザクラ、ソメイヨシノ、河津桜、荘川桜、淡墨桜、神代曙、仙台屋、紅笠、関山、うこん、福祿寿、紅華など）咲く時期は3月初めから4月下旬の約2ヶ月間咲き続けます。色も形も各種各様です。桜の多様性を知っていただく、絶好の桜並木となっています。



等々力の桜は一本一本種類が違います

4. 今後の取り組み

引き続き、スーパー堤防の整備や沿川市街地の整備等と併せて桜並木の復活を進めていきます。

トピックス3 サイクリングコースの充実

これまで神奈川県が行っていた多摩川サイクリングコースが川崎市に移管されました。市民の皆様に近い存在である市ならではの、きめ細やかな維持管理を行い、コースを充実させています。

1. 安全なコースへ～路面標示の実施～

より安全に使っていただくため、階段や坂路とコースの交差点を青で舗装しました。また、「ゆっくり走ろう」や「合流注意」などの標記により、自転車・歩行者双方に注意を促しています。

カラー舗装イメージ



2. わかりやすいコースへ～案内サインの設置～

サイクリングコース利用者をはじめ多摩川を訪れた方々が、利用しやすいように階段やスロープなど多摩川の出入口となる場所を中心に、多摩川の地図や最寄り駅までの周辺案内を記載したサインを設置しました。



総合案内板



周辺案内板

また、走行時の目安となるよう路面に河口からの距離を標示したほか、区界がわかるように、区界のコース上に区の花を描きました。



距離標示イメージ

3. 快適なコースへ～こまめな草刈、補修～

これまでは、全コース一律年3回の草刈を行っていましたが、移管後は、例えば階段付近は草刈回数を増やすなど、きめ細やかな維持管理を実施しています。



4. 今後の取り組み

- ・現在のサイクリングコースは稲城市のコースと繋がっていません。また、幸区と川崎区の間も途切れていることから、多摩川の回遊性向上にむけて接続・延伸を検討していきます。
- ・利用形態が多様化していることから、現状にあった利用ルールを検討していきます。ルールづくりには上下流や対岸など、近隣自治体のコースとの整合性を図っていきます。

1 情報発信拠点の充実

川崎市では、多摩川に関する総合的な計画である「川崎市多摩川プラン」と「多摩川エコミュージアムプラン」を推進するために川崎市と市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設があります。それが「ニヶ領せせらぎ館」と「大師河原水防センター（大師河原干潟館）」です。また、今年度4月にはリニューアルされた「かわさき宙と緑の科学館」に多摩川の展示コーナーが新設されました。

1. ニヶ領せせらぎ館（多摩区）

国土交通省京浜河川事務所が管理するニヶ領宿河原堰管理所の一部を多摩川の魅力を紹介する情報発信センターとして、平成11年3月に開館し、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営を行っています。他にも環境学習など様々な市民活動が展開されています。

◇アクセス：JR南武線・小田急線 登戸駅下車徒歩10分

◇開館日：月曜日を除く毎日（月曜日が祝日の場合は翌平日） 10:00～16:00
（6月～9月までの土日祝は17:00まで）※入場無料

◇問い合わせ先：044（900）8386



24年度（4月～1月末まで）
年間来館者数… 20,807名
累計（1月末まで）… 333,319名
※1999（平成11）年3月開館

2. 大師河原水防センター（愛称：大師河原干潟館）（川崎市）

多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信、下流域における環境学習を行う市民活動拠点です。国土交通省京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にある大師河原水防センターの一部を利用し、平成20年1月から川崎市と地元市民グループで構成する運営委員会が協働して管理運営を行っています。

◇アクセス：京浜急行大師線 東門前駅下車徒歩7分

◇開館日：水曜日、土曜日、日曜日、祝日 10:00～16:00
（5月～9月は木曜日も開館）※入場無料

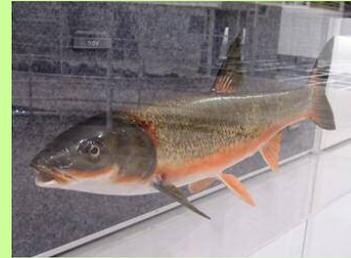
◇問い合わせ先：044（287）7882（開館時のみ）

※閉館時は多摩川施策推進課 044（200）2268



24年度（4月～1月末まで）
年間来館者数… 10,984名
累計（1月末まで）… 46,291名
※2008（平成20）年1月開館

3. ^{そら}かわさき宙と緑の科学館(多摩区) ※4月リニューアルオープン、1月に来館30万人達成



リニューアルにより新設された「多摩川の自然」展示コーナーの中には、かわさき水辺の楽校で捕獲されたマルタウグイの剥製なども展示されています。

2 多摩川流域セミナー

多摩川流域自治体と河川管理者である国土交通省、市民団体、企業や学識経験者などで構成されている多摩川流域懇談会が主催する多摩川流域セミナーに川崎市も参加しました。今年度も「川づくりの輪」をテーマに2回開催しました。

1. 第39回多摩川流域セミナー（テーマ『多摩川の集い』）

◇日 時：2012(平成24)年10月28日(日) 10:00~14:30

◇場 所：ニヶ領せせらぎ館(展示室・会議室)および館前広場

◇参加者：64名

◇内 容

- ・学生研究発表
- ・ディスカッション
- ・パネル展示
- ・多摩川もの知り検定 など



パネル展示など様々な催しが行われました

2. 第40回多摩川流域セミナー（テーマ『吹き込もうよ！新たな風を』）

◇日 時：2013(平成25)年 2月16日(土) 13:00~16:30

◇場 所：ニヶ領せせらぎ館会議室

◇参加者：73名

◇内 容

- ・基調講演「多摩川の夢」
- ・パネルディスカッション
- ・バイオリン演奏 など



ディスカッションやバイオリン演奏などが行われました

3 「多摩川の渡し」を伝える ～ふるさと資産・遺産の活用～

「渡し場」が担ってきた流域の歴史文化を後世に伝えるため、「ふるさと遺産・資産事業」として渡し場の復活やこれまでに設置した渡し場跡の碑を活用したイベントを行っています。

1. 渡し復活イベント

◇二子の渡し	2012(平成24)年 7月29日(日)	一般参加	…70名参加
◇丸子の渡し	2012(平成24)年 9月11日(火)	中原区宮内中	…34名参加
	2012(平成24)年 9月15日(土)	中原区上丸子小	…80名参加
	2012(平成24)年11月 8日(木)	中原区西丸子小	…96名参加

2. 渡し場跡碑散策イベント

◇丸子の渡し～宮内の渡し	2012(平成24)年10月20日(土)	…31名参加
◇矢野口の渡し～登戸の渡し	2012(平成24)年11月18日(日)	…18名参加
◇羽田・大師の渡し～六郷の渡し	2012(平成24)年12月 8日(土)	…15名参加
◇堰・宇奈根の渡し～二子・諏訪の渡し	2013(平成25)年 3月17日(日)	…16名参加



きれいな多摩川の水と風を感じることのできる「渡し」体験



歴史を伝える「渡し場跡の碑」



1 旧日ハム球団グラウンドの再整備

2011（平成23）年5月に川崎市管理となった旧日本ハム球団グラウンド跡地（中原区上丸子天神町地内）について、利用団体の方々や地域の方々との話し合い、市民の皆様の意見を踏まえて「整備計画改訂版」を平成24年12月に策定しました。来年度以降、この計画に基づいて整備を行っていきます。



2 堤防と一体となった公園の完成

国土交通省が進めている高規格堤防（スーパー堤防）と連携して整備された「御幸公園」（幸区東古市場）と「殿町第2公園」（川崎区殿町3丁目）が完成しました。市街地から多摩川への眺望が開け、アクセスが向上しました。

3 河川敷トイレの利用環境向上

従来から河川敷に設置されている汲取り式トイレは、整備から年月がたち、老朽化が進んでいることや必ずしも快適な利用環境であるとはいえないため、簡易水洗トイレへと更新を進めています。2012（平成24）年度には、6基の簡易水洗トイレを設置しました。（これまでに、汲取り式トイレ38基のうち17基の簡易水洗トイレの設置が完了しました。）



簡易水洗トイレ

4 マラソンコースの再整備

1996（平成8）年に完成したマラソンコースですが、経年劣化や多摩川の増水等により舗装が傷んできていることから、2009（平成21）年度より、特に傷みの激しい箇所を中心に改修しています。マラソンコースは緊急用河川敷道路を利用して設置しているため、管理用車両の通行と周辺環境に配慮し、舗装の材料に木質系セメントを使用しています。

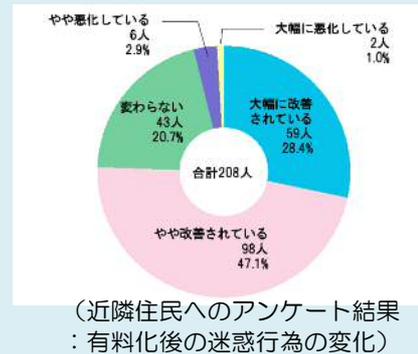
2012（平成24）年度には、高津区諏訪2丁目地内延長約120mと中原区上平間地内延長約120mの改良・補修工事を行いました。

これまでに改修予定延長約2,200mのうち1,300mの改修が完了しておりますが、現在も、水溜り等がところどころにあるため、今後もコースの改良を進めていきます。

5 バーベキュー問題の解決

1. 二子橋周辺地区

高津区瀬田に2011（平成23）年4月に開設されたバーベキュー広場は、2012（平成24）年4月から民間事業者（指定管理者）による管理運営を開始しました。フリーダイヤル（0120-256-^{バーベキュー}889）が開設されるとともにバーベキュー用品のレンタルが開始されました。また、駅周辺の見回りを行い、更なる迷惑行為の低減に努めています。今年度は、天候にも恵まれ、利用者は大幅に増加しています。（平成23年度：115,688人→平成24年度：149,076人 2013.2.20 現在）



2. 他地区(丸子橋周辺地区)

2012（平成24）年度は、丸子橋周辺のバーベキュー問題について、バーベキュー対策協議会を開催し、関係者（地元町内会、東京都、東急電鉄、国土交通省等）が集まり丸子橋周辺河川敷におけるバーベキュー利用のあり方について意見交換を行いました。



6 緑地の維持管理

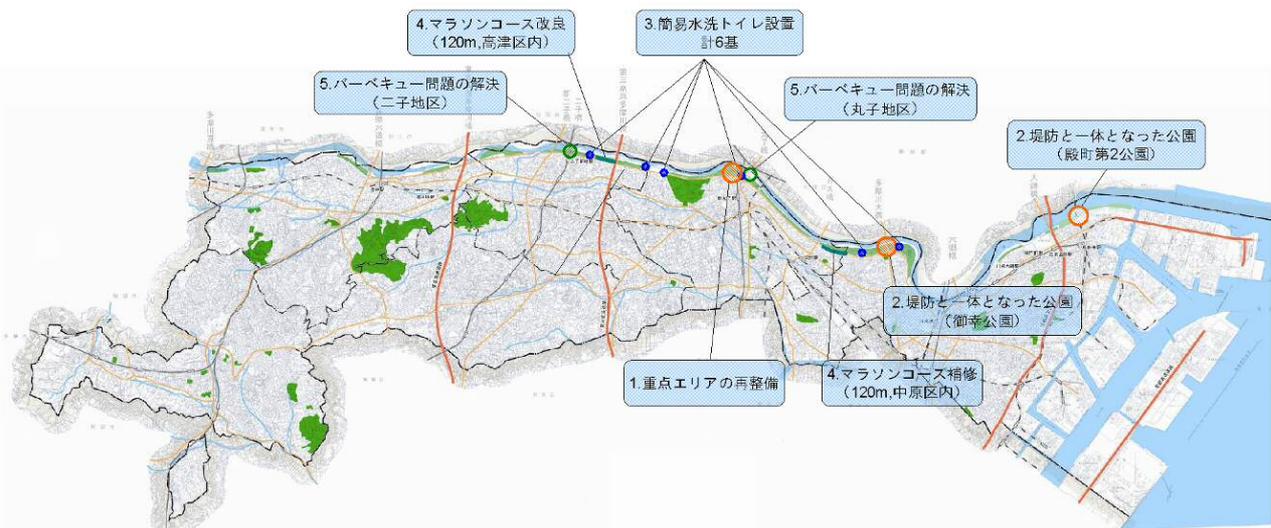
運動公園として、安全快適に利用いただくため、定期的に草刈やグラウンド整備を行っています。一方、広場ではカマキリやバッタなどの小さな生き物の棲みかとなるよう草むらの一部刈り残す配慮をしており、メリハリをつけた維持管理を行っています。

7 施設の更新、補修

老朽化したバックネットなどを素材の軽いものにし、緊急時に転倒作業を迅速に行うための構造の改良を進めています。また老朽化した水道管の更新や駐車場の舗装補修などを直営や請負工事で行っています。



駐車場補修の様子



1 環境学習の実施

川崎市では、市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設及び多摩川の環境学習の拠点施設である二ヶ領せせらぎ館、大師河原水防センター（大師河原干潟館）で、年間を通じて市内外の小中学生や学生などが多摩川の自然や歴史などについて学んでいます。

1. 二ヶ領せせらぎ館での環境学習

実施回数 …39回
参加人数 …2,322名 } (4月～1月まで)

館内の水槽掃除などの職業体験



2. 大師河原水防センター(大師河原干潟館)での環境学習

実施回数 …31回
参加人数 …1,447名 } (4月～1月まで)

学年単位での受け入れもありました



2 市内3校の水辺の楽校

「水辺の楽校」とは「水辺で楽しみながら学ぶ学校」のことで、川遊びをしたり、生きものや植物などを観察したりしながら、実体験を通じて多摩川の自然への理解とその保全について学びます。川崎市内では「かわさき」「とどろき」「だいし」の3校が多摩川の各水辺の特徴を活かしながら、月1回程度という頻度で活発な活動を行っています。

1. かわさき水辺の楽校(多摩区)

主なフィールド …宿河原地区のワンド
参加者 …1,132名(4月～1月)
活動内容 …魚つかみ、ワンド清掃、凧上げ、など

魚つかみ体験の様子



2. とどろき水辺の楽校(中原区)

主なフィールド …等々力地区の魚らん川
参加者 …1,503名(4月～1月)
活動内容 …ガサガサ体験、源流体験、草木染め、など

ガサガサ体験の様子



3. だいし水辺の楽校(川崎区)

主なフィールド …大師河原地区の河口干潟
参加者 …334名(4月～1月)
活動内容 …干潟体験、ハゼ釣り、つるあみ、など

干潟体験の様子



3 夏休み多摩川教室

小中学生を対象に、多摩川と様々な形でふれあうことにより、多摩川の水質や自然環境、防災等について興味や関心を深め、多摩川の自然を研究するきっかけやその保全について考えてもらえるように毎年「夏休み多摩川教室」を開催しています。多摩川の魚とのふれあい、水生昆虫の観察、降雨体験車による豪雨体験といった災害の体験コーナーなど、様々な催しが開かれています。

- ・日 時：2012(平成24)年 7月25日(水)～26日(木)
- ・場 所：東京都調布市(多摩川河川敷)
- ・参加者：550名(2日間延)
- ・主催者：多摩川流域協議会



暑い中、こどもたちは元気に多摩川とふれあい学びました

4 かわさき多摩川博2012

いかだ下りやシンポジウムなどのイベントを行いながら1年を通して、多摩川の魅力・情報を発信する事業を「多摩川博」と総称しています。昨年度に引き続き「多摩川の多面性」をテーマに、NPO法人多摩川エコミュージアムと川崎市が協働で実施しました。

1. 多摩川桜のコンサート

桜の開花時期に合わせて、二ヶ領せせらぎ館前広場で行うコンサートです。

- ・日 時：2012(平成24)年4月7日(土) 13:30～16:00
- ・場 所：二ヶ領せせらぎ館前広場【多摩区】
- ・参加者：約1,200名



今年度は桜満開の中でのコンサートでした

2. 多摩源流まつり

川崎市の流域団体としてNPO法人多摩川エコミュージアムが参加しました。多摩鍋を出店し、約100食完売しました。せせらぎ館パンフレットや多摩川あそび場マップ等も配付し、多摩川下流域の川崎市のPRを行いました。

- ・日 時：2012(平成24)年5月4日(金祝) 10:30～20:00
- ・場 所：山梨県小菅村【多摩川源流】
- ・参加者：約10,000名



源流域との毎年の貴重な交流



好評の多摩鍋

3. 合同河口干潟観察会

子どもを対象に生きもの探しなど、3校水辺の楽校合同の干潟体験イベントを行いました。

- ・日 時：2012(平成24)年5月20日(日) 10:00~13:00
- ・場 所：多摩川河口干潟【川崎区】
- ・参加者：120名



広大な干潟でたくさんの生きもの観察

4. 生田緑地サマーミュージアム

市内随一の緑の宝庫である生田緑地で行われる催しに参加し、市民に緑や水、多摩川の環境について考えてもらうイベントを行いました。

- ・日 時：2012(平成24)年8月5日(日)
- ・場 所：生田緑地【多摩区】
- ・参加者：2,890名



ゴルフ場開放による緑いっぱいの中に大勢の人が集まりました

5. エコ★カップいかだ下り

公募参加による廃材等のエコな材料で作った、個性豊かな手作りいかだによる、多摩川下りのイベント。多摩川の自然と直接ふれあい、環境も考えてもらうことを目的に開催しました。

- ・日 時：2012(平成24)年9月2日(日) 10:00~13:00
- ・場 所：ニヶ領せせらぎ館下から県立多摩高校裏手の多摩川【多摩区】
- ・参加者：20チーム、計79名乗船 観覧者：約500名



今年は無事開催することができ(昨年中止)、趣向を凝らしたいかだが多摩川を下りました

6. みずウオーク川崎大会

「水辺の自然を楽しみながら健康づくり」を目的に読売新聞社との共催で実施しました。今年度初めて多摩川の下流側（河口）で対岸の大田区側も歩くコースへリニューアルし、多摩川の2ポイントで自然環境と歴史を紹介する定点案内ガイドも初めて実施しました。

- ・日 程：2012(平成24)年10月27日(土) 10:00~15:30
- ・場 所：大師河原水防センター前広場(スタート・ゴール)から多摩川の両岸を通る7km、10km、20kmの3コース【川崎区、幸区、中原区、大田区】
- ・参加者：約670名



リニューアルされた河口側のコースを歩きながら、ガイドによる案内で多摩川を詳しく知ってもらいました

7. 多摩川博シンポジウム

「ふるさと多摩川」をテーマに多摩川博の活動報告や多摩川における市民活動、源流の大切さ、多摩川から学ぶことなど焦点に基調講演やパネルディスカッションが行われました。

- ・日 時：2013(平成25)年1月14日(月祝) 午後13:00~16:40
- ・場 所：エポックなかはら7階大会議室【中原区】
- ・参加者：約100名



外は大雪でしたが、多摩川への熱い思いが飛び交うシンポジウムでした

8. 多摩川GPS植物調査 ※トピックス1「企業と育む環境づくり」参照

5 スポーツイベントの実施

1. 多摩川カヌー教室

- ・開催日：2012（平成24）年8月5日（日）
- ・参加者数99人
- ・内容：カヌー体験
- ・（カヌー基礎知識講習、カヌー操作方法等の水上講習）
安全講習（救急法講習）



2. 川崎国際多摩川マラソン

- ・開催日：2012（平成24）年11月18日（日）
- ・参加者数5,869人
- ・会場：川崎市等々力陸上競技場（スタート、フィニッシュ）
- ・コース：多摩沿線道路及び多摩川河川敷マラソンコース
- ・種目：ハーフマラソン、10km、3km、親子ペアランニング



3. 多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎

- ・開催日：2013（平成25）年3月24日（日）開催予定
- ・会場：川崎市古市場陸上競技場
- ・コース：多摩川河川敷マラソンコース
- ・種目：ショートの部（中学生以上）
キッズ・ファミリーの部（小学生以上）
ロングの部（高校生以上）



多摩川は今
川崎市多摩川プラン事業実施報告書
2012

発行：2013（平成25）年2月
川崎市多摩川プラン推進会議

事務局：川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話：044（200）2265
FAX：044（200）7703
E-mail：53tamasu@city.kawasaki.jp